

9 県民主役の県政運営について

(1) 県民参画でつくられた政策で知っているもの

◇「三番瀬再生計画（平成18年）などの三番瀬関連計画」が3割台半ば。

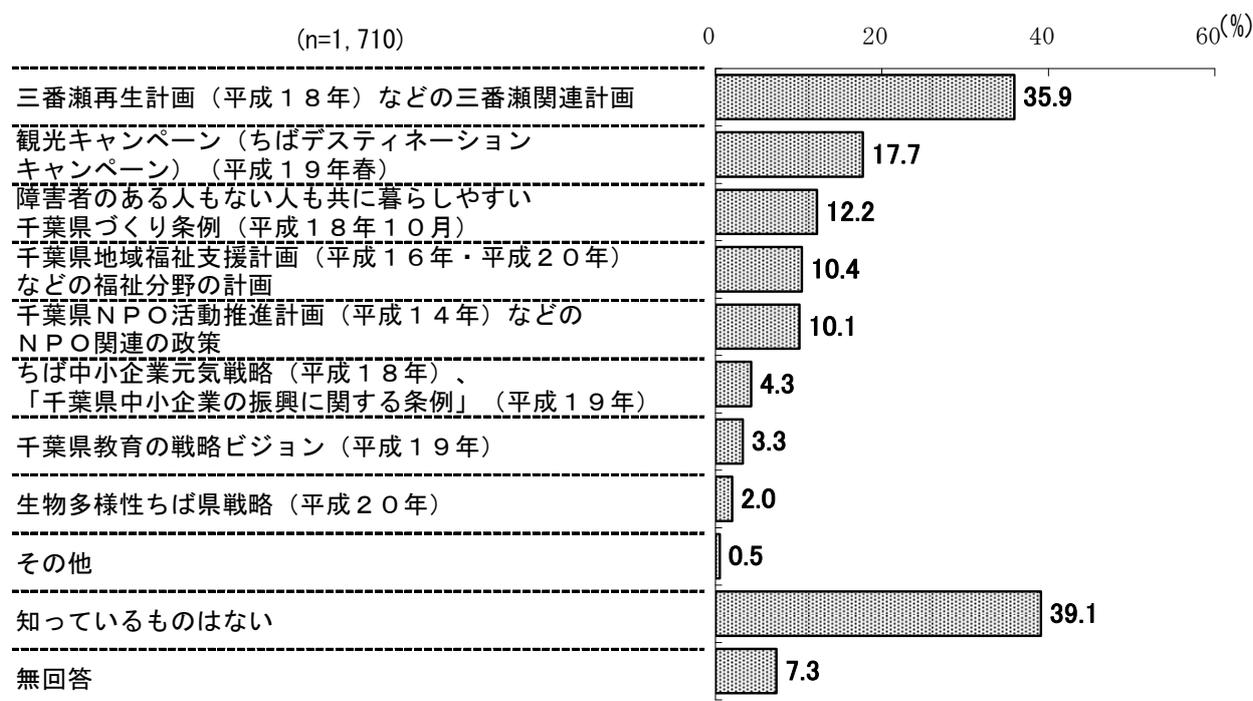
千葉県では、「県民主役の県政運営」（県政運営の主役は県民の皆さんである）を基本方針としています。そこで、健康福祉や環境などをはじめ、さまざまな分野の政策立案に際して、タウンミーティングなどを通じて、県民の皆さんに積極的に参画していただいています。

また、21世紀にふさわしい分権型の地域社会のあり方として、県民、企業、NPO などさまざまな方々が連携・協働する主体的な地域づくりを支援しています。

問34 県民参画による県の代表的な政策には、以下のようなものがあります。あなたは、県民参画でつくられた政策であることを知っているものがありますか。

(○はいくつでも)

<図表9-1> 県民参画でつくられた政策で知っているもの



県民参画でつくられた政策で知っているものを聞いたところ、「三番瀬再生計画（平成18年）などの三番瀬関連計画」（35.9%）が3割台半ば、「観光キャンペーン（ちばデスティネーションキャンペーン）（平成19年春）」（17.7%）が約2割と続く。（図表9-1）

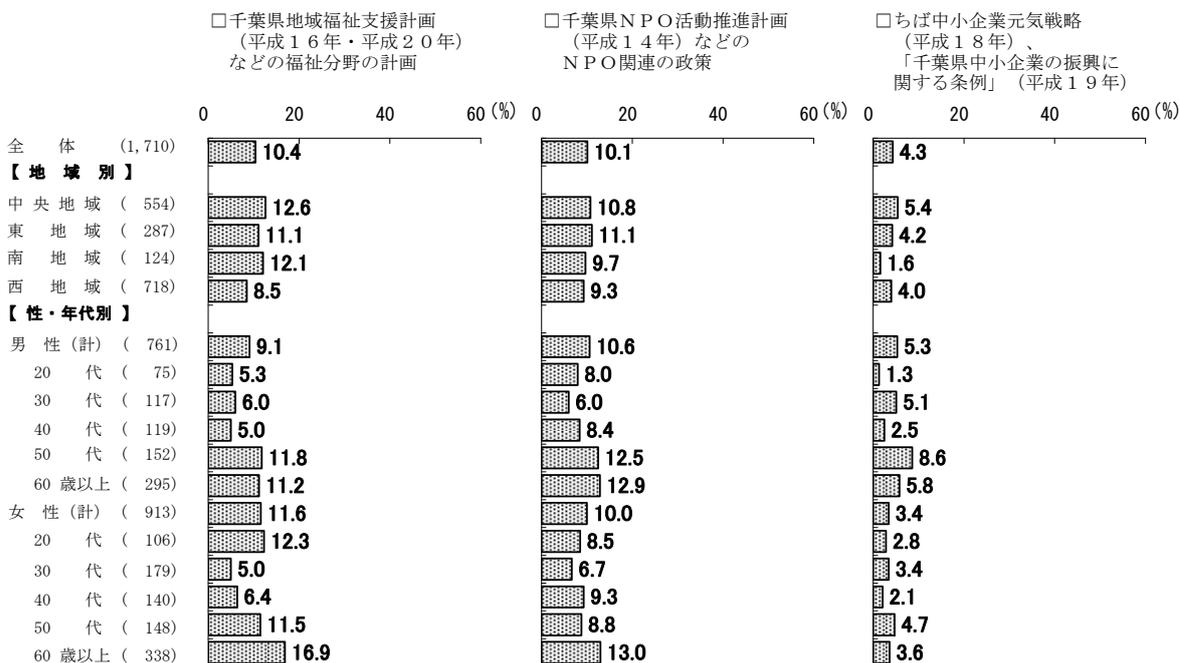
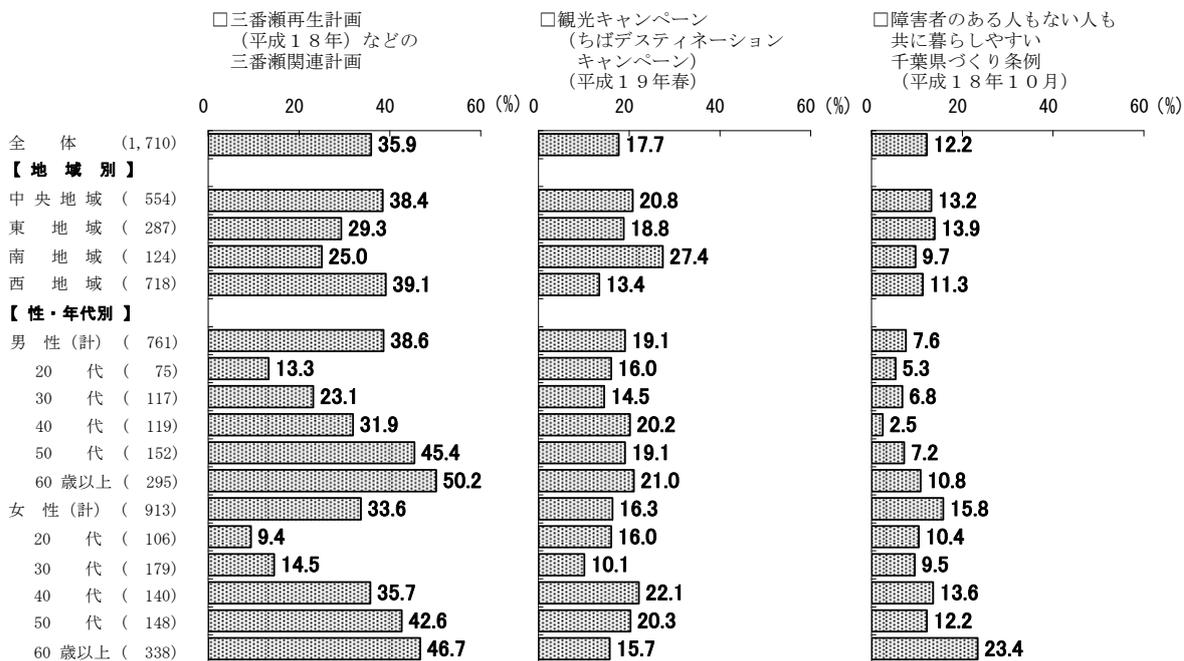
【地域別】

「三番瀬再生計画（平成18年）などの三番瀬関連計画」は、“西地域”（39.1%）と“中央地域”（38.4%）が約4割と他の地域に比べて高い。「観光キャンペーン（ちばデスティネーションキャンペーン）（平成19年春）」に関しては、“南地域”（27.4%）が約3割と他の地域に比べて高くなっている。（図表9-2）

【性・年代別】

「三番瀬再生計画（平成18年）などの三番瀬関連計画」は、男女共に年代があがるにつれて高くなり、男性の60歳以上（50.2%）で5割、女性の60歳以上（46.7%）で4割台半ばとなっている。「観光キャンペーン（ちばデスティネーションキャンペーン平成19年春）」は、男性の40代（20.2%）、60歳以上（21.0%）、女性の40代（22.1%）、50代（20.3%）で2割を超えて他の年代に比べて高い。（図表9-2）

＜図表 9-2＞ 県民参画でつくられた政策で知っているもの／地域別、性・年代別（上位 6 項目）

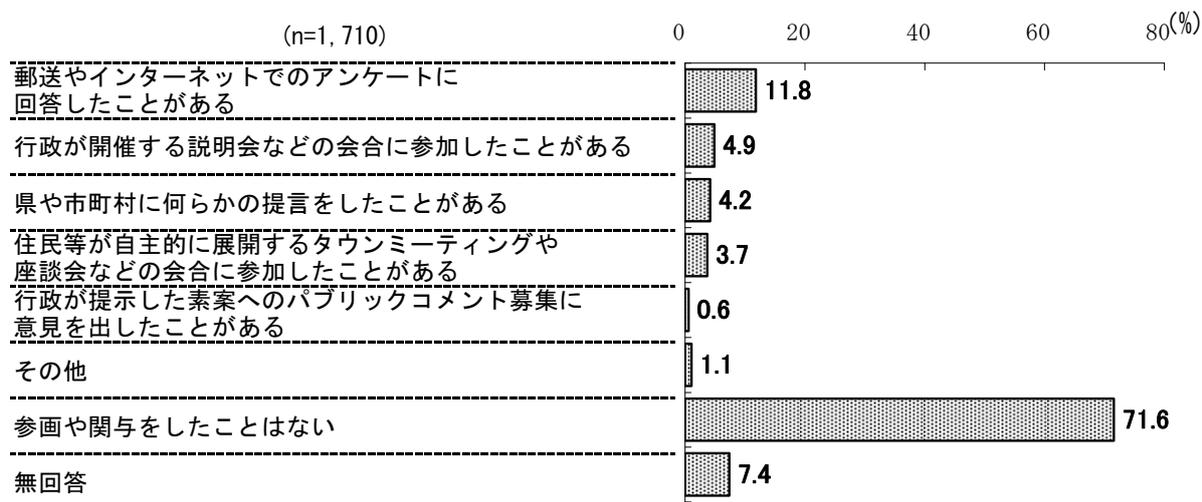


(2) 行政の政策づくりへの参画、関与経験

◇「参画や関与をしたことはない」が7割を超える。

問35 あなたご自身は、行政（県や市町村）の政策づくりに参画や関与をしたことがありますか。（〇はいくつでも）

＜図表9-3＞行政の政策づくりへの参画、関与経験



行政の政策づくりへの参画、関与経験をいくつでも選んでもらったところ、「郵送やインターネットでのアンケートに回答したことがある」（11.8%）が1割を超える。一方、「参画や関与をしたことはない」（71.6%）が7割を超える。（図表9-3）

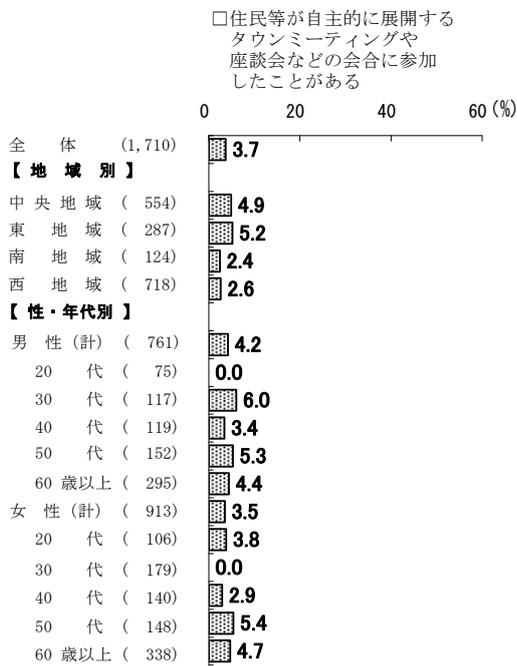
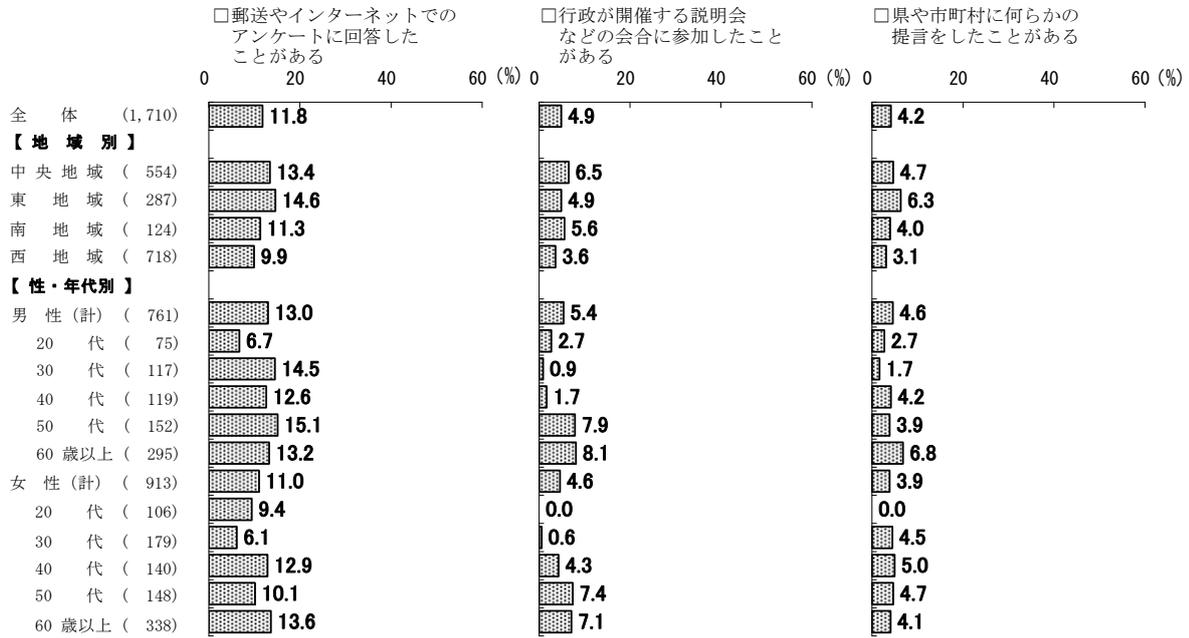
【地域別】

「郵送やインターネットでのアンケートに回答したことがある」は、“東地域”（14.6%）で最も高くなっている。（図表9-2）

【性・年代別】

「郵送やインターネットのアンケートに回答したことがある」は、男性の50代（15.1%）で最も高くなっている。（図表9-2）

<図表9-4> 行政の政策づくりの参画、関与経験／地域別、性・年代別

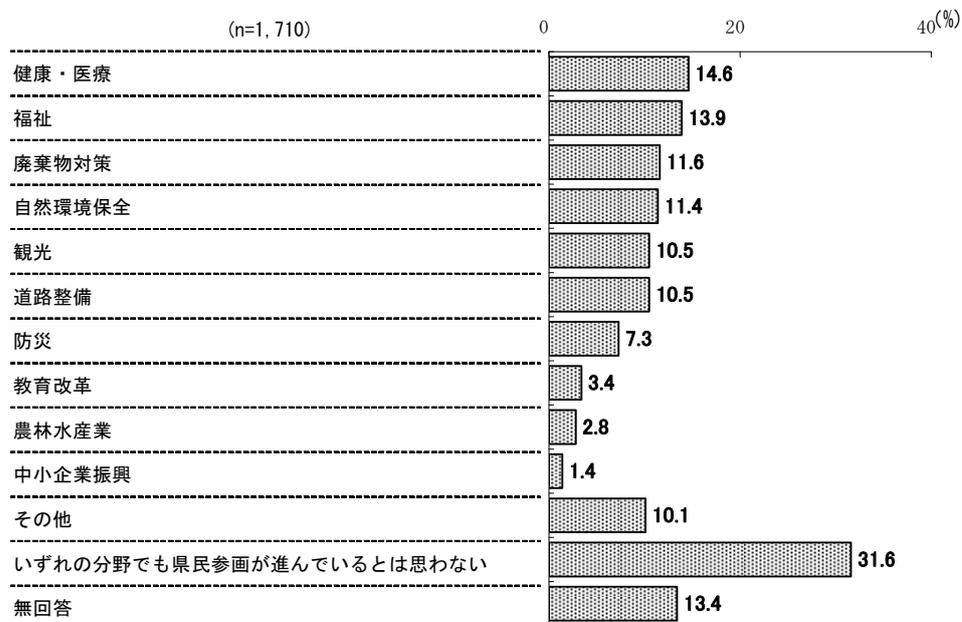


(3) 県民参画が進んだと思う分野

◇「健康・医療」、「福祉」が1割台半ば。

問36 あなたは、千葉県の政策の中で、県民参画が進んだと思う分野は何ですか。
(〇はいくつでも)

<図表9-5> 県民参画が進んだと思う分野



県民参画が進んだと思う分野を聞いたところ、多い順に「健康・医療」(14.6%)、「福祉」(13.9%)が1割台半ば、ついで「廃棄物対策」(11.6%)、「自然環境保全」(11.4%)が1割を超える。一方、「いずれの分野でも県民参画が進んでいるとは思わない」(31.6%)が3割を超える。(図表9-5)

【地域別】

“西地域”において、「健康・医療」(15.9%)が1割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

“南地域”において、「観光」(21.8%)、「道路整備」(19.4%)が他の地域に比べて高くなっている。(図表9-6)

【性・年代別】

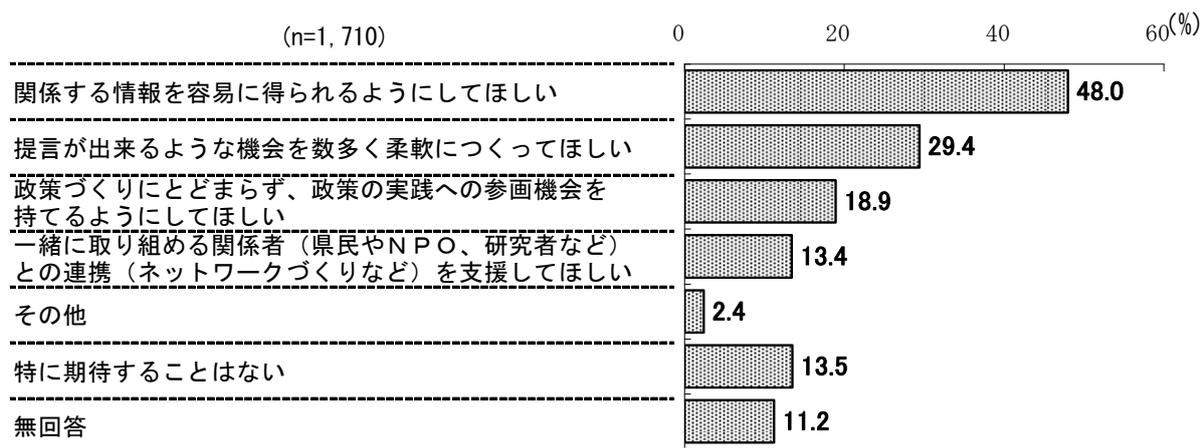
「健康・医療」は、男性の60歳以上(22.0%)で2割を超え、女性の60歳以上(17.2%)で約2割と他の年代に比べて高い。「福祉」は男性の60歳以上(18.0%)で約2割、女性60歳以上(16.9%)で1割台半ばとなっており他の年代に比べて高くなっている。(図表9-6)

(4) 政策づくりへの参画の際に、行政に期待すること

◇「関係する情報を容易に得られるようにしてほしい」が約5割。

問37 県民の皆さんが政策づくりに参画される場合に、あなたが、行政に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

＜図表9-7＞政策づくりへの参画の際に、行政に期待すること



政策づくりへの参画の際に、行政に期待することを聞いたところ、「関係する情報を容易に得られるようにしてほしい」(48.0%)が約5割で最も高い。ついで、「提言が出来るような機会を数多く柔軟に作ってほしい」(29.4%)が約3割、「政策づくりにとどまらず、政策の実践への参画機会を持てるようにしてほしい」(18.9%)が約2割である。(図表9-7)

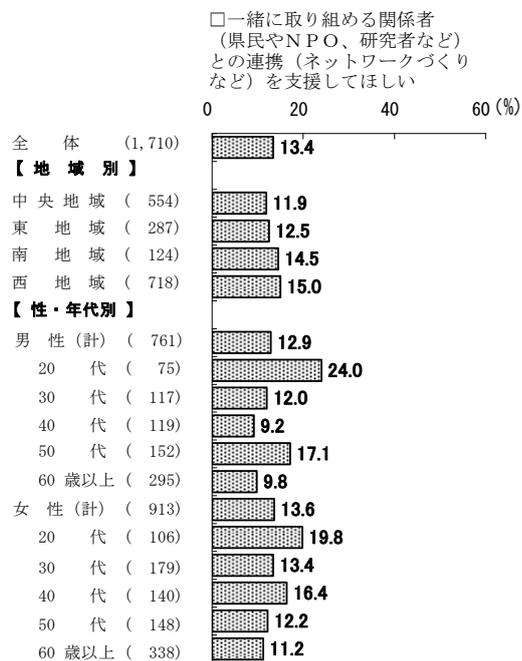
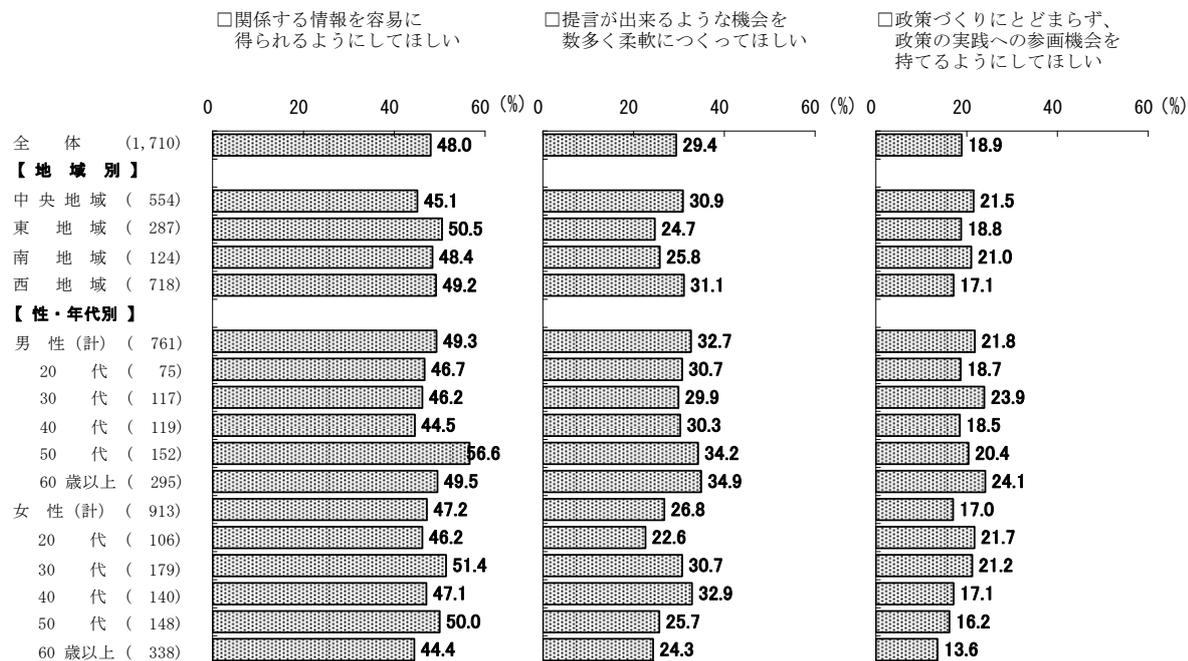
【地域別】

「関係する情報を容易に得られるようにしてほしい」は、「東地域」(50.5%)が最も高い。「提言が出来るような機会を数多く柔軟に作ってほしい」に関しては、「西地域」(31.1%)が最も高い。「政策づくりにとどまらず、政策の実践への参画機会を持てるようにしてほしい」に関しては、「中央地域」(21.5%)、「南地域」(21.0%)で2割を超えている。(図表9-8)

【性・年代別】

「関係する情報を容易に得られるようにしてほしい」は、男性の50代(56.6%)で5割台半ばとなり他の年代に比べて高くなっている。また、女性30代(51.4%)と女性50代(50.0%)で5割以上となっている。「提言が出来るような機会を数多く柔軟に作ってほしい」は、男性の50代(34.2%)、60歳以上(34.9%)で3割台半ばとなっている。また、女性の30代(30.7%)、40代(32.9%)で3割を超えている。(図表9-8)

＜図表 9-8＞政策づくりへの参画の際に、行政に期待すること／地域別、性・年代別



問 「県民主役の県政運営について」やここまでの質問（問34～問37）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、125人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

■「県民主役の県政運営について」の自由回答（抜粋）

- 県政がその政策立案にあたって、県民参加をこれほどまでに期待しているとは、正直思っていなかった。今までは大きな距離感を感じていたが、これを機に思い直して“自分達のこと”として色々な政策を見てみたい。（男性・60歳以上・東地域）
- 「県民主役の県政運営」と良い言葉を作っているわりに、全く浸透していないと思います。少なくとも私は1つも耳にした事はありません。宣伝が足りない過ぎる（効果がない）のでは？（男性・30代・西地域）
- 普段の生活中でアンケートに質問されていた事など、特に深く考えていなかったのですが、県での活動が少し分かって良かったと思います。ただ、色々な問題に対して、もっと誰でも興味を持てるようにしてほしいです。また、情報などがもっと身近に感じられれば、様々な人が協力できやすくなると思います。（無回答・無回答・西地域）
- 声の大きな人だけの意見が通る様な事はだめだと思います。色んな人の小さな声も聞いてほしいです。（女性・40代・中央地域）
- 県民一人一人に県の方針や、また案を詳しく知らせる事で、今県民が何をしなければならぬかを知る事が出来ると思う。（女性・60歳以上・中央地域）
- 現状、ごく限られた参画ではないか？誰でも積極的に参加できる環境ではない。もっともっと自治体から積極的に発信してほしい。（男性・20代・中央地域）
- 作った政策は「振り返り」、「見直し」をして頂けたら、もっと良くなると思います。行政も県民の話を伺うということはとても好ましいと感じました。期待もしています。（男性・30代・中央地域）
- 県民が主役では政治はできない。みんなが希望することは全部同じではないと思いますので、今参加している人達だけが納得しているのでは。（女性・60歳以上・西地域）
- 例え県民主役を基本方針とされ、タウンミーティングや会合が開かれても、それが反映されたのか分かっていけません。わざわざ市役所に出向いてまで知りたいとも思わないので、チラシや新聞等に載せていただきたいと思います。（女性・20代・東地域）
- 説明会といった会合は平日に開かれることが多く、フルタイムで勤務する社会人にとっては参加が難しいという現実があると思います。（女性・30代・西地域）